

令和 8 年 度 着 手

大堤谷地区 農業用排水施設事業 計画概要書
【ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）】

事業主体 福 井 県

第1章 目 的

本地区のため池は3つあり、大堤谷第1、第3については、明治時代に築造され、現在に至っており、大堤谷第4については、昭和46～47年度かけて農業構造改善事業 浄法寺地区により築造され、現在に至っている。

本地区のため池は、令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されており、この法律に基づいて実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。ため池堤体が常時・地震時における安定性に欠け、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。

よって、本事業により安全性に欠けた不安定なため池の改修を実施し、営農労力と維持管理の低減を図るとともに、農業生産の維持、農業経営の安定および地域住民の暮らしの安全の確保を図り、災害に強い農村づくりを目指す。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

永平寺町：吉波、栃原 地係

第2節 地 積

事業名 地目 市町村名	農 業 用 用 排 水 施 設						備 考
	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)			計 (ha)	
永平寺町	11.8	—	—			11.8	
計	11.8	—	—			11.8	

第3節 現 況

1. 気 象

観測所名	福井観測所	かんがい期	非かんがい期	計または平均 (年間)
観測期間	H 23 ～ R 2	5月～9月	10月～4月	
平均気温(℃)		23.8	8.9	15.1
平均降水量(mm)		194	207	202
平均降水日数(日)		11	17	15
根雪期間		12月～3月		日間
無霜期間		4月～11月		日間
最多風向	S(南)	最大風速		21.8 m/s

2. 地形地質

本地区の地形は標高52.4～71.1m、主傾斜1/25の平坦地で地質は粘質の沖積世非固結水成岩からなる。

3. 水利状況

本地区の農業用水は、渓流水を水源としており、ため池を経由し、開水路により地区内を灌漑している。

4. 営農状況

本地区の農業は、認定農業者（農地所有適格法人：1組織）を主体に農地集積が進んでいる。

5. 地域環境の概略

本地区は、永平寺町の北部に位置し、一級河川 九頭竜川の右岸側に広がる農業地域であり、豊かな自然に囲まれた地区である。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

1. 要旨

本地区ため池は、常時・地震時における安定性に欠け、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。

よって、本事業により脆弱化した堤体を改良土によりかさ上げを行うことで、安全性を確保し、更に、老朽化した洪水吐等も併せて整備を行い、災害発生を未然に防止する必要がある。

2. 事業別面積

土地利用区分 工区	農業用排水施設					計 (ha)	備考
	旧田 (ha)	新規田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	その他		
用水改良	—	—	11.8	—	—	11.8	
計	—	—	11.8	—	—	11.8	

第2節 営農計画

本地区では、現在作付けされている水稻+小麦を今後も作付けしていく計画である。

第3節 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第4節 計画基本事項

1. 農業用排水施設事業

ア) 用水計画

- ・確 率 1 / 10
- ・連続干天日数 29日 (1997年)
(福井地方気象台福井観測所1995年～2024年 [30年間])

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

1. 農業用排水施設事業

ア) ため池工

- ・大堤谷第1 N=1.0式 (堤体工、洪水吐工)
- ・大堤谷第3 N=1.0式 (堤体工、洪水吐工、遮水シート敷設工)
- ・大堤谷第4 N=1.0式 (堤体工、洪水吐工)

第2節 予定工期

令和 8 年 ～ 令和 12 年

第3節 管理の要領

本事業により設置された農業用施設は、吉波区が管理する。

第5章 換地計画の要領
 第1節 換地計画樹立の必要性

該 当 事 項 な し

第2節 換地計画樹立の基本方針
 1. 従前の土地の地積の基準

換地区	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

2. 農用地集団化の方法

区分 換地区	地 帯 別 グ ル ー プ 別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 選 択	1 戸 当 たり 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い
		該 当 事 項 な し		

3. 非農用地の換地方針

該 当 事 項 な し

4. 清算の方法

該 当 事 項 な し

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入に係る地積

単位:ha

用途	区分	機能交換に係る土地				一般 国有地	合計
		国有地	県有地	市町村有地	計		
			該 当 事 項 な し				
	計						

第4節 換地処分の時期に関する特則

該 当 事 項 な し

第6章 費用の概算

令和 7 年度価格

区 分	事業費 (千円)	事務費 (千円)	総事業費 (千円)	備 考
全 区	520,000	—	520,000	
計	520,000	—	520,000	

第7章 効 用

令和 7 年度価格

区 分	年 総 効 果 (便 益) 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
食料の安定供給の確保 に関する効果	4,646	—	総費用総便益比： 1.17 総所得償還率： — % 増加所得償還率： — %
作物生産効果	5,095	—	
営農経費節減効果	△ 414	—	
維持管理費節減効果	△ 35	—	
農村の持続的発展 に関する効果	9,268	—	
災害防止効果(農業)	9,268	—	
農村の振興 に関する効果	17,509	—	
災害防止効果(一般)	17,509	—	
多面的機能の発揮 に関する効果	792	—	
災害防止効果(公共)	792	—	
そ の 他 効 果	933	—	
国産農産物 安定供給効果	933	—	
計	33,148		

第8章 他の事業との関連

該 当 事 業 な し

第9章 計画概要図

別 添 図 面 参 照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

令和 7 年度価格

1) 総事業費

・農業用排水 520,000 千円也 [事業費 520,000 千円也]
 [事務費 - 千円也]

2) 負担区分

【農業用排水施設事業】

令和 7 年度価格 (千円)

区 分		補 助 率	金 額	計	
国 庫 補 助	事 業 費	55.00 %	286,000	286,000	
	事 務 費	- %	-		
県 費	事 業 費	35.00 %	182,000	182,000	
	事 務 費	- %	-		
分 担 金	永 平 寺 町	事 業 費	52,000	52,000	
		事 務 費	-		
	地 元	事 業 費	- %	-	-
		事 務 費	- %	-	
計	事 業 費		520,000	520,000	
	事 務 費		-		

2 地元負担の予定基準

該 当 事 項 な し

3 負担団体

永 平 寺 町

大堤谷地区 ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）によって造成された施設の予定管理方法

1 管 理 者

吉波区

2 管理すべき施設の種類の種類

種 類	名 称	位 置	施 設 の 規 模	備 考
た め 池	大堤谷第1	永平寺町吉波地係	堤長42.4m×堤高3.7m V=2,300m ³	
	大堤谷第3	永平寺町吉波地係	堤長41.5m×堤高5.0m V=9,500m ³	
	大堤谷第4	永平寺町吉波地係	堤長58.0m×堤高8.9m V=15,400m ³	

3 貯水、放流、取水又は排水に関する基本的事項

当該施設は農繁期における灌漑用水の貯水を目的とする。但し、地震、豪雨等により堤体の弱体化が想定される際には、緊急放流を行うものとする。

4 管理に要する費用の概算

(1) 費用の概要

令和 7 年度価格

種 類	年 間 維持管理費	耐用 年数	耐用年数間の 合 計	10 a 当 り 年 負 担 額	備 考
た め 池	213 千円	80	17,040 千円	1,805 円	A = 11.8 ha

(2) 負担の方法

受益の地積割りに賦課する。

5 その他管理方法に関する基本的事項

施設の管理は永平寺町が定める管理規定に基づいて行う。

一 定 地 域 調 書
(県 営 土 地 改 良 事 業)

大 堤 谷 地 区

一 定 地 域 調 書

【農業用排水施設事業】

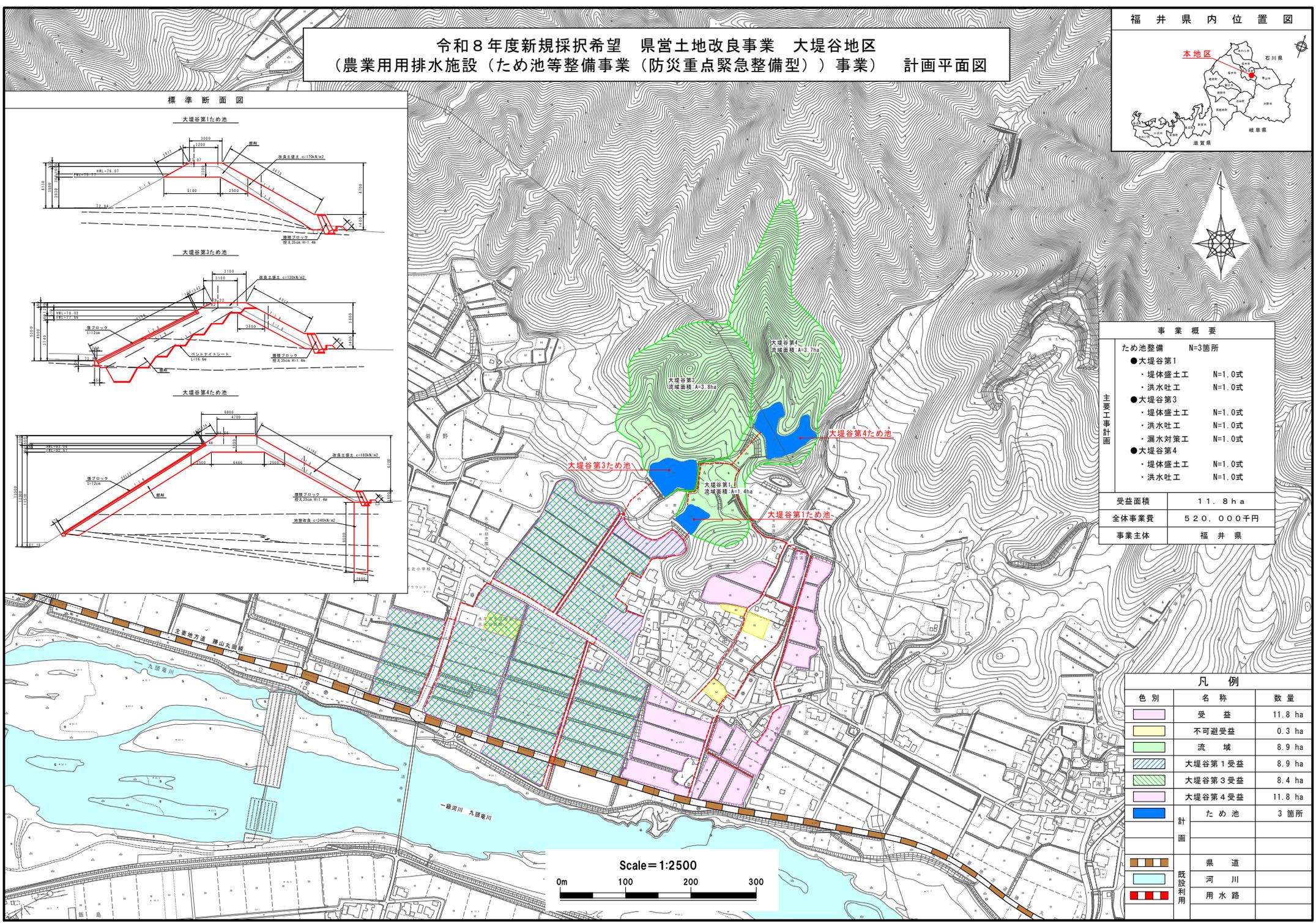
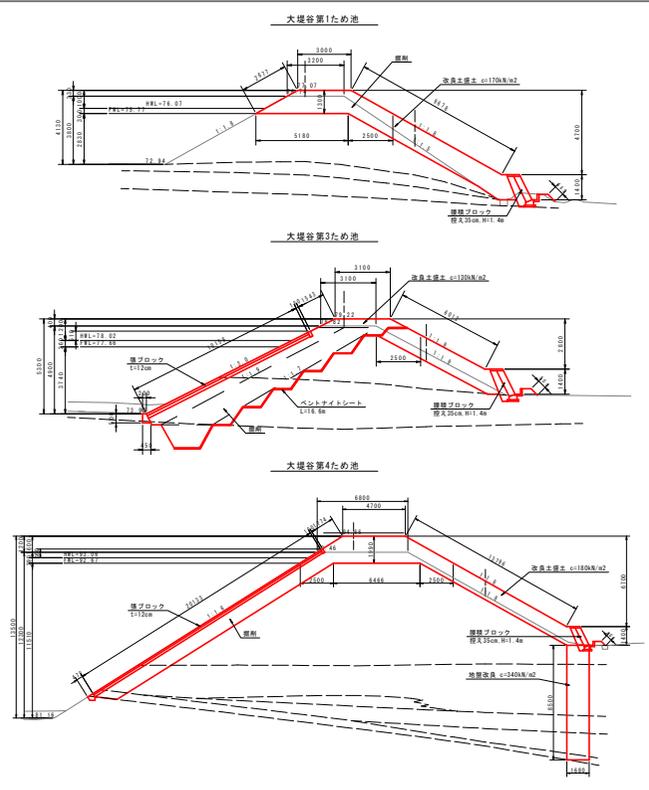
ため池等整備事業（防災重点緊急整備型） 大堤谷地区

市町名	大 字	字番	地 域						
永平寺町	吉波	3	101						
		4	102-1	103-1	103-2	105-1	105-2	107	109
			111	113-1					
		6	101	102-1	102-2	104-1	105	106-1	106-2
			107-1	109	111-1	113-1	115-1	116-1	117
			119	121	123	125-1	125-2	125-3	127-1
			127-2	127-3	127-4	127-5	127-6		
		8	101-1	101-2	101-3	101-4	101-5	102	103-1
			103-2	103-3	105	107	109-1	109-2	111-1
		9	101	102	103	105	107	109	111
			113	115-1	116-1	116-2			
		12	101	103					
		17	102	104	105	107	109-1	109-2	109-3
			109-4	109-5	111				
		20	101-1	102	104	106-1	106-2	114	116
			118	119-1	119-2	120	122-1	130	132
			133	134	136	138			
		22	109-1	111-1	111-2	112-1	114-1	116-1	
		栃原	1	101	103	104	105-1	105-2	105-3



令和8年度新規採択希望 県営土地改良事業 大堤谷地区
 (農業用排水施設(ため池等整備事業(防災重点緊急整備型))事業) 計画平面図

標準断面図



事業概要

ため池整備 N=3箇所

- 大堤谷第1
 - ・堤体盛土工 N=1.0式
 - ・洪水吐工 N=1.0式
- 大堤谷第3
 - ・堤体盛土工 N=1.0式
 - ・洪水吐工 N=1.0式
 - ・漏水対策工 N=1.0式
- 大堤谷第4
 - ・堤体盛土工 N=1.0式
 - ・洪水吐工 N=1.0式

受益面積	11.8ha
全体事業費	520,000千円
事業主体	福井県

凡例

色別	名称	数量
[Pink]	受益	11.8 ha
[Yellow]	不可避受益	0.3 ha
[Green]	流域	8.9 ha
[Blue Hatched]	大堤谷第1受益	8.9 ha
[Green Hatched]	大堤谷第3受益	8.4 ha
[Pink Hatched]	大堤谷第4受益	11.8 ha
[Blue]	ため池	3箇所
[Brown]	県道	
[Light Blue]	河川	
[Red]	用水路	

